

「体操 天皇杯」第73回全日本体操個人総合選手権 大会要項
「第49回世界体操競技選手権大会」日本代表第2次選考競技会
「第30回ユニバーシアード競技大会（2019/ナポリ）日本代表選考競技会
「第73回全日本体操種目別選手権男子トライアウト」

主催：(公財)日本体操協会 主管：群馬県体操協会 後援：高崎市・(公財)高崎財団・(一財)上月財団
協賛：テーブルマーク・日本航空・三菱地所・明治・朝日生命・ミスノ
セイコーホールディングス・シミズオクトセノー・ニトムズ・東武トップツアーズ

1. 期 日 2019年4月24日(水)～29日(日)
4月24日(水) 会場設営/会場練習
4月25日(木) 会場練習/男女監督会議
4月26日(金) 男女審判会議/開会式/男子・女子予選競技
4月27日(土) 男子種目別選手権トライアウト/女子会場練習
4月28日(日) 男・女決勝競技 ※テレビ放映(NHK BS1 11:55～13:05 総合 13:05～14:55)

2. 会 場 高崎アリーナ
〒370-0846 群馬県高崎市下和田町4-1-18 TEL 027-329-5447(代表)

3. 参加資格と条件 2019年度本協会への選手登録を済ませた者とします。

(1) 個人総合男子

- ① 年齢制限は、中学3年生以上とします。
② 別表1に該当する者とします。

別表1 2018年度大会結果による

①全日本シニア選手権1部 上位20名	20名
②全日本学生選手権1部・2部 上位20名	20名
③男子ジュニア強化部推薦	8名
※A 枠(3年生含む): インターハイ 上位2名、全日本 Jr、上位2名	
※B 枠(2年生以下): インターハイ 上位1名、 全日本 Jr 上位1名、高校選抜 上位2名	
④協会推薦6名	6名
⑤トライアウト 上位18名	18名
⑥ユニバーシアード推薦枠(学連12名・シニア6名)	18名
合計	90名

※出場意思確認の際、棄権者が出た場合の繰り上げは上記の各カテゴリー内で行う。
協会推薦枠に空きが出た場合はシニア・インカレの点数を並べ、高い選手から繰り上げる。
出場意思確認後に棄権者が出た場合は、トライアウトの上位者を繰り上げる。
ユニバーシアード推薦枠の補欠は2名登録可。枠返上の際の繰り上げ措置は行わない。

(2) 個人総合女子

- ① 年齢制限は、13歳以上とします。(2019年12月31日までに達する者)
② 別表2に該当する者とします。

別表2 2018大会結果による

①全日本ジュニア選手権1部 上位20名	20名
②全日本学生選手権1部・2部 上位18名	18名
③全日本シニア選手権大会1部 上位8名	8名
④全日本団体選手権 上位8チーム(各1名) 8名	8名
⑤協会推薦(世界選手権日本代表、ナショナル強化選手、2020特別強化選手) 及びアジア競技大会出場のため、全日本ジュニアに出場できなかった選手8名	8名
⑥トライアウト 上位10名	10名
⑦ユニバーシアード学連推薦枠	12名
合計	84名

※出場意思確認の際、棄権者が出た場合の繰り上げは上記の各カテゴリー内で行う。
※出場意思確認後に上記①②③の選手数が定員に満たない場合は、2018年度全日本個人総合
トライアウト11位以下の選手を定員数まで繰り上げて追加する。

(3) 種目別トライアウト男子

- ① 年齢制限は、中学3年生以上とします。
- ② 別表3の①もしくは②のいずれかに該当するものとします。

別表3

① 全日本個人総合有資格者を除き、2018年度に行われた以下の競技会 (一般ルール適用)に参加した選手 ※全日本選手権(個人総合・種目別・団体)・NHK杯・全日本シニア選手権 全日本学生選手権・全日本ジュニア ※該当競技会の成績帳票を提出	各種目最大36名
② ①に該当しない選手で1種審判員2名の推薦を受けたもの。 ※演技内容を記載した推薦書とともに、推薦申込料1名につき2,000円を添えて申請を行ってください。	

※上記①、あるいは②の条件を満たしたものについて、強化本部および審判本部で書類審査を行い、各種目最大36名の出場を認める。

※申請方法については別紙を参照ください。

※審査は13,000を基準とします。

※注意事項

- (1) 18歳未満(大会時)の参加者は、「ドーピング・コントロールに関する同意書」を提出して下さい。
- (2) 学生(大学生・高校生以下)の参加者は、出場資格を得た大会に関わらず、所属名を学校名またはクラブ名のどちらかを選択できます。その際、今年度の選手登録を済ませて下さい。
 - ① 大学・高校等とクラブで協議のうえ、両所属の承諾を得ることとします。
 - ② 登録時に双方の連盟に登録しておいて下さい。(本協会への登録窓口となっている、各都道府県体操協会登録窓口では、複数登録が可能となっています。)
- (3) (2)における所属の双方を表記することが可能です。また、学生以外の参加者は、所属・スポンサー契約等の条件をもとに本協会と参加者合議の上所属の表記を申告できます。
 - ① プログラムに双方の所属を掲載します。
 - ② 文字数に制限のある場合(競技帳票・得点表示板・場内放送や中継等における選手紹介・アナウンス・スポンサーによる肖像使用等)に、優先的に表記する所属を申告して下さい。
 - ③ ②における制限に対し、/で区切り、合計12文字以内の略称を申告することが可能です。競技帳票・場内表示等に使用します。例：○○○○○クラブ/□□高校
 - ④ このほか制限が生じる場合、優先する表記を本協会と参加者合議の上決定します。
- (4) 個人出場有資格者が出場を辞退した場合、別表1・2の出場基準に基づき、次点の選手から繰上げて、定員を充たします。抽選会までを限度としてこの措置を行い、抽選後は棄権の扱いとします。
- (5) 別表2(女子のみ)に記載された「各所属推薦枠」における選手の入替は、監督会議までとします。申込時に予備選手(2名を限度とする)を記載してください。記載のない選手との入替はできません。
- (6) 本大会の出場選手で第30回ユニバーシアード競技大会(2019/ナポリ)出場有資格者は、(公財)日本オリンピック委員会との定めるところにより、「第30回ユニバーシアード競技大会(2019/ナポリ)日本代表候補選手」として、所定の手続きを完了する必要があります。派遣事務手続き要領に基づく事前資料の提出をお願いいたします。なお、この手続きを行わなかった場合、日本代表選手の権利を放棄したものとさせていただきます。
- (7) 男子選手で種目別W杯(東京五輪予選)の選考を希望する場合は事前に意思表示が必要になります。
※ 種目別W杯(東京五輪予選)を希望する選手は2020東京五輪チームメンバーとして出場することができないことを承諾しなければなりません。2018年度に希望している選手も撤回することはできません。
第49回世界選手権代表選手の日本代表選考会には参加が可能です。種目別W杯(東京五輪予選)選考会を希望する選手は強化本部長の許可を得た選手に限ります。参加申し込みの際に上記希望を申請して下さい。
- (8) 女子選手で種目別W杯(東京五輪予選)の選考を希望する場合は事前に意思表示が必要になります。
※ 種目別W杯(東京五輪予選)を希望する選手は2019世界選手権及び2020東京五輪チームメンバーとして出場することができないことを承諾しなければなりません。(2019-20W杯種目別シリーズ派遣基準参照)
※ 2018年度にW杯種目別選手権トライアウトにエントリーしている選手も撤回することはできません。

4. 競技に関する注意事項

(1) 採点規則

男子は2017年版採点規則および本操競技情報最新号を適用します。

女子は2017年版採点規則および本操競技情報最新号を適用します。

(2) 競技規則(2019年版F I G競技規則に準ずる)

1) 班編成について

〈1日目(男子・女子予選)〉

【男子】1組6名の12組、2班編成とします。

Ⅱ班 2018年度ナショナル強化選手(種目別成績による選出者除く)及びジュニア推薦選手5名と、成績順から選出された36名までをシード。各班の開始種目は抽選36名

Ⅰ班 Ⅱ班に編成された選手以外の合計36名で開始種目を抽選 36名

※各班各組の開始種目は次の通りです。

Ⅱ班・Ⅰ班	ゆか	あん馬	つり輪	跳馬	平行棒	鉄棒
	1組	2組	3組	4組	5組	6組

【女子】1組6名で14組、3班編成とします。

Ⅲ班 2018年度ナショナル選手、「予選会得点」を高い方から並べた合計24名で開始種目を抽選24名

Ⅱ班 「協会推薦選手」、「予選会得点」を高い方から並べた残りの選手合計30名で開始種目を抽選30名

Ⅰ班 トライアウト得点を高い方から並べた選手、「全日本団体選手権」上位8チームからの推薦選手各1名・ユニバーシアド杯選手計12名の合計30名で開始種目を抽選30名

※各班各組の開始種目は次の通りです。

Ⅱ班・Ⅰ班	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか	休み
	1組	2組	3組	4組	5組

Ⅲ班	跳馬	段違い平行棒	平均台	ゆか
	1組	2組	3組	4組

〈2日目【男子種目別トライアウト】〉1組6名の編成とします。

① ユニバーシアド推薦枠の選手18名をゆか・あん馬・つり輪の1組に編成し順次6ローテーションします。

② トライアウト出場者の開始種目は①を除いたオープン抽選により編成します。

「ゆか」、「あん馬」、「つり輪」、「跳馬」、「平行棒」、「鉄棒」の6種目で編成します。

③ 複数種目に出場する選手が、順次競技を行うことができるように演技順を抽選します。

〈3日目(男・女決勝)〉

① 決勝進出資格選手は、個人総合予選の成績順による男子上位30名+左記通過選手を除く各種目上位6名、女子上位24名とし、成績順により組編成します。(男子WC個人総合内定選手が決勝のみに出場する場合29名とし1位通過のオーダーとする。持ち点はWCで得た得点(内定決定大会)を予選得点とする。)

② 演技順は、各組とも最上位者が最終種目で最終演技者となります。

③ 男子種目別上位者各種目6名を6組として編成します。演技順は順位の低い選手から編成します。

④ リザーブは「男子2名」、「女子2名」とし公式練習終了まで準備をお願いします。

2) 棄権および選手変更の取扱いについて

① 棄権および選手変更の場合は、別途様式にてコンペティションマネージャーまで提出をお願いします。

② 監督会議以前に棄権および選手変更の申し出があった場合、演技順を監督会議で確認し、各組の中で演技順の調整を行う場合もあります。

3) 競技の進行について

- ① 男女ともに原則として1種目25分のローテーションで競技進行します。ご協力をお願いします。
- ② 決勝はNHKのテレビ生中継のために、演技者と演技者の間(得点表示)の時間を長くするなど進行に調整が入るので、ご協力をお願いします。
- ③ 女子「ゆか」の競技が行われていない競技中に会場内にBGMを流す予定です。
- ④ 会場解説が入る予定です。

4) 器械器具について

- ① 本大会の器械器具は、セノー社製(2019製品カタログ版)を使用します。
- ② 本大会では、演技台(ポディウム)は設置しません。
- ③ 男子サブ会場を設営します。

5) 跳躍板について

- ① 「跳馬」はハードタイプ(3-3-2)・ソフトタイプ(3-1-2)を使用します。
(注)バネの取り外しはできません
- ② 「平行棒」、「段違い平行棒」、「平均台」については、ソフトタイプを使用します。

6) 女子ゆかの音楽について

伴奏曲はCDで、1枚につき1曲のみとし、通常の再生機器で再生できるものを大会用としてご準備下さい。

7) 跳馬の注意事項

- ① 男子の種目別による日本代表選出希望者は2回とします。(1回目を個人総合の得点とします)
※ 2超越の実施は全日本種目別通過希望者及び種目別W杯(東京五輪予選)希望者
- ② 女子の種目別W杯(東京五輪予選)日本代表希望者は2回とします。(1回目を個人総合の得点と全日本種目別への種目別順位得点とします)
※ 全日本種目別選手権への出場を目指す選手は1回のみとします。

5. 「第73回全日本体操個人総合選手権」の順位決定方法

男子・女子「第73回全日本体操個人総合選手権」の予選・決勝の合計得点とします。

6. 「第58回NHK杯体操」・「第73回全日本体操種目別選手権」への出場資格について

「第58回NHK杯体操」

男子 ①「第73回全日本個人総合選手権」予選・決勝の合計得点上位30名

②上記①を除く全日本個人予選と種目別トライアウトの各種目上位6名

女子 「第73回全日本個人総合選手権」予選・決勝の合計得点上位24名

「第73回全日本体操種目別選手権」

(1) 男子

① 第48回世界選手権メダリストを除くファイナリスト・第72回全日本種目別優勝者・2018-2019W杯種目別日本代表選手をシード(日本国籍を有する選手)

② ナショナル強化選手(種目別による選出)をシード

③ ①・②シードを含め全日本個人予選及び種目別トライアウト成績各種目上位24名

④ 全日本個人総合決勝において種目別予選8位を上回る得点を獲得した選手

⑤ N杯10位以内選手のうち全日本種目別予選に通過していない選手は跳馬におけるチーム貢献獲得のための1超越実施が可能

※ ④・⑤は24名に含まない

⑥第48回世界選手権種目別メダリスト(日本国籍を有する選手)を当該種目決勝にシード

(2) 女子 合計24名

① 順位による推薦

「全日本個人総合」2日間と「NHK杯」の3日間の競技いずれかで、各種目の上位8位までに一度でも入った選手に予選出場資格を与える。(人数未定)

② 演技動画提出による推薦(人数未定)

※ 細部は別途HPにおいて案内いたします

7. 表 彰

本大会は上記5における順位決定方法により表彰します。

- (1) 男子個人総合優勝者に対して「天皇杯」を授与します。
- (2) 男女個人総合優勝者に「JOC杯」及び「優勝杯」を授与します。
- (3) 1～3位にはメダルと賞状、4～8位には賞状を授与します。
- (4) 同点は同順位として表彰します。

8. 運営に関する事項について

(1) AD (Accreditation) カードについて

本協会へ役員、指導者または選手登録を完了した方のみADカードは発行されます。

○発行されたADカードは、会場では必ず見える位置に着用をお願いします。

○AD使用に際しましては、不正使用のないようご協力をお願いいたします。

○各所属へのADカードの発行枚数と条件は、以下の通りといたします。

役 職	配布枚数	備 考
部 長	1枚	男女の選手が出場のチームでも1名分とします。 会場練習時は競技エリアに入ることができます。 競技中は観客席での観戦となります。
監 督	1枚	男女の選手が出場のチームの場合、合計で2名分発行します。 会場練習時は競技エリアに入ることができます。 競技中は競技エリア外(フェンスなどがある場合はフェンスの外側)まで入ることができます。
選 手	出場者数	出場選手数と同数のカードを発行します。各所属推薦枠出場選手は予備登録の有無にかかわらず1枚とします。
コーチ	出場選手数分	選手1名に対して1枚のカードを発行します。
トレーナー	1枚	男女の選手が出場のチームの場合、合計で2名分発行します。 競技中は競技エリア外で待機してください。 治療などを要する場合は競技エリア内に入ることができます。

(2) 大会保険ならびに大会期間中の怪我について

- ① 本協会の費用負担にて、参加選手に対して大会期間中スポーツ傷害保険をかけます。
- ② 発生した傷害の補償についてはスポーツ傷害保険の範囲とします。
- ③ 競技中の疾病、負傷に対する応急処置は主催者側で行いますが、その他の責任は負いません。
- ④ 大会参加者は健康保険証を持参してください。

(3) ドーピング検査について

- ① 本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会となります。出場者は大会参加申込が完了した時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなします。また、18歳未満(大会時)である場合は、ドーピング検査を含むドーピング・コントロール手続きに対する親権者からの同意書を大会参加時に提出する必要があります。
- ② 本大会出場者は、本大会において実施されるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるのでご留意下さい。
- ③ 血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技終了後2時間の安静が必要となりますのでご留意ください。
- ④ 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、(公財)日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)で確認して下さい。また本大会はTUE事前申請が必要となる競技会として指定されております。TUE事前申請についてはJADAウェブサイト<http://www.realchampion.jp/process/tue>で確認して下さい。

⑤ ドーピング・コントロールに関する同意書につきましては、18歳未満（大会時）の出場者は、JADAウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)トップページ右上の「特設サイト／18歳未満の競技者への検査について」のページをご確認いただき、ドーピング・コントロールに関する同意書を、ダウンロードの上、必要事項を記載して郵送にて提出をお願いします。また、2015年4月以降に開催された本会主催の競技会（国民体育大会を除く）において提出していただいた同意書が、満18歳となるまで有効となります。すでに有効な同意書を提出済みの方で、内容に変更の必要がない方は、本大会においては再度の提出の必要はありません。

(4) 炭酸マグネシウムについて

主催者側で準備したものを使用してください。各所属で持参した炭酸マグネシウムは会場内に置くことはできません。

(5) 演技写真撮影について

- ① 本大会は記録のため写真および映像を撮影します。本協会が定める競技者規程第8条に従い、各選手の肖像利用に関しては大会参加申込みにより了解を得たものとします。また、出場選手の記録のため、本協会指定の写真販売業者が撮影した画像を出場選手とその関係者に限定して販売を行います。また、大会期間中、総務委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。
- ② 所属あるいは選手自身の記録のための撮影を希望する方は、大会参加申込み時に申し「撮影許可証」を取得してください。「撮影許可証」は1所属（男女別）につき3枚を上限として発行します。撮影の際は「撮影許可証」を必ず身につけて撮影してください。なお、6名を超える出場者のいる場合、追加の発行をいたします（2名につき1枚追加）。

(6) 所属の車両乗り入れについて

- ① 本大会は出場選手の輸送などを目的とした各所属の車両の乗り入れはできません。公共の交通機関をご利用下さい。

9. 参加申し込み

(1) 期日

2019年3月26日（火）～4月5日（金）16:00 必着

(2) 申込方法

大会申込を<http://jga-web.jp/>にて行います。

参加申込終了後に棄権した場合でも参加料の返金は致しませんのでご了承ください。補欠選手についても上記申し込みを行ってください。

なお、2019年度選手登録が3月15日（金）11:00～開始されますので、選手登録を完了した後大会参加申し込みを行って下さい。

(3) 参加料

- ※ 1選手につき 10,000円（男子種目別トライアウト申告からの出場者は8,000円とします）
- ※ JASRAC（日本音楽著作権協会）負担金 女子選手のみ500円

(4) ドーピング・コントロールに関する同意書

18歳未満（大会時）の出場者は、JADAウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)トップページ右上の「特設サイト／18歳未満の競技者への検査について」のページをご確認いただき、ドーピング・コントロールに関する同意書を、ダウンロードの上、必要事項を記載して郵送にて提出をお願いします。

<郵送先>〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館5階（公財）日本体操協会
第73回全日本体操個人総合選手権 係

(5) 連絡先および推薦申込先

〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
(公財)日本体操協会 TEL 03-3481-2341 FAX 03-3481-2344
「第73回全日本体操種目別トライアウト参加申込」係

①もしくは②と申請料の振り込み控え書のコピーを提出

- ① 2018年度に行われた全国レベルの公式試合(一般ルール適用)に参加した選手で該当競技会当該種目リザルト
- ② 種目別トライアウト演技構成申請用紙及び映像メディア
※締め切り 2019年3月18日(月)15:00 必着

(6) 推薦申込料について

振込先 みずほ銀行 渋谷支店 (普通) 3296257
口座名義 ザイ)ニホンタイソウキョウカイ

- ① 他の大会と区別する為に、振込人の前に「MO3」と記載してお振り込み下さい。
- ② 申し込み期間内に所属毎まとめて振り込みを行ってください。
- ③ 振り込みの際、振り込み依頼者名に所属名を附して下さい。

10. 「第30回ユニバーシアード競技大会(2019/ナポリ)」日本代表候補選手派遣事務手続き「候補選手に関する書類」の提出について

※ 平成30年12月ご案内申し上げ、すでに対応いただいております。

(1) 「第30回ユニバーシアード競技大会(2019/ナポリ)」に出場意思のない方は提出の必要はありません。

(2) 提出の無い方は「出場意思無し」と判断され、日本代表に選考されても派遣されません。

11. その他

(1) 班編成の公開抽選会について

日時 2019年4月6日(土) 13:00~
会場 武蔵野の森アリーナ会議室(東京都調布市西町290-11)

(2) 競技時程・会議時程等は、参加者及び関係者に追って連絡することとします。

(3) 上記、出場資格以外の記載内容については、若干変更される場合があります。